

鹿児島県柔道会だより

■発行人：北 哲郎 ■編集：総務部編集委員会 ■発行：公益財団法人鹿児島県柔道会 (099-222-7770)

平成27, 28年度基本方針

会 長 北 哲郎



1 嘉納師範の理想とする「人間教育としての柔道」の推進

2 「武の国薩摩」復活を目指した競技力向上

本年度も昨年同様「教育柔道」と「競技力向上」を最重点課題として「2020年鹿児島国体」の成功を期すべく、競技力向上はもちろんのこと、青少年の健全育成・指導者の資質向上など、柔道の普及振興を積極的に図り、それにより県民の心身の健全な発達に寄与し、豊かな人間性を涵養することを目的として諸事業を幅広く展開していく。

3 施策

公益財団法人として定款の一部変更を行い、組織体制の充実化と各部の任務分担の明確化を図った。

① 評議員の定数削減

各地区会長（13地区）を評議員とした。（現行35～45 → 20～25）

② 評議員会 5月 年1回開催

「評議員会」報告

平成27年度の公益財団法人鹿児島県柔道会評議員会が、5月16日（土）開催されました。北哲郎会長から、本年度県柔道会基本方針を含めた挨拶がありました。その後、平成26年度事業報告・決算報告及び平成27年度事業計画・予算並びに定款の改正及び役員選任について協議され、全て承認されました。

平成27・28年度新役員

会 長 北 哲郎（代表理事）
副会長 松永 郁男（執行理事）
堀之内俊隆
田邊 侑
専務理事 北蘭 季康（執行理事）
常務理事 木本 洋一（執行理事）
理 事 山崎 逸郎 小林 義弘
田中 総一 古賀 雅弘
田島 史朗 福元 雅一
中村 勇 向井 一輝
田原 幸一 中蘭 雅博

監 事 柏木 茂徳 牧 光紘
評議員 鹿児島地区会長 徳永 正明
井川 秋義 濱田 征夫
鮫島 俊隆 熊井 康浩
梶原 義彦 山野 修
豎山 孝一

大島地区会長 稲田 博実
熊毛地区会長 蓮子 昭夫
出水地区会長 鶴田 均
阿久根地区会長 古賀 正男
薩川・さつま地区会長 平 善行
日置地区会長 南 昌治
南薩地区会長 野沢 好則
指宿地区会長 田村 信弘
始良地区会長 小妻 幸造
伊佐地区会長 森 好郎
肝属地区会長 内村 純博
曾於地区会長 鮫島 芳美

顧 問 寺前 弘道 入船 次興
豊永 強 木原 紀幸
亀丸 政弘
（顧問医） 牧 光紘 入來 敦久
具志堅 隆

☆柔道功労者等表彰

・地域振興指導者 7人

- 島 猛（出水地区）
長年に亘り本県柔道の振興に尽力した。
- 早川 浩一郎（日置地区）
長年に亘り本県柔道の振興に尽力した。
- 畦元 徹郎（日置地区）
長年に亘り本県柔道の振興に尽力した。

- 畑添 勉 (鹿児島地区)
長年に亘り本県柔道の振興に尽力した。
- 南 政光 (出水地区)
長年に亘り少年柔道の指導に係わり、
青少年の健全育成に尽力した。
- 持留 信雄 (肝属地区)
長年に亘り本県柔道の振興に尽力した。
- 常盤 正人 (始良地区)
長年に亘り本県柔道の振興に尽力した。

平成26年度 昇段者

【八段昇段者 3人】

「昇段の機会を得て」 田之上政和
病を得たことにより、八段受験は無理かと思われたが、北会長を始め諸先生方のご配慮により、受験がかない、この度合格の知らせを受けた。今後は、柔道八段の名を汚すことのないよう、創始者嘉納治五郎先生の「精力善用」、「自他共栄」の精神で努力精進してまいりたい。

「八段審査に合格して…」 山崎逸郎
北会長の並々ならぬご尽力により、今回八段審査合格者の一人として名を連ねることができ大変感謝致しております。

自分では、八段審査の土俵に上がれるのはまだまだ先のことだと思っていましたが、昨年夏八段候補者の選定に当たり、私は候補にあがった先輩方の「古式の形」の稽古相手をするものだと思っていました。ところがここ数年、全国高段者大会に出場していたことなどもあり、会長に候補者の一人として加えていただきこの度八段昇段の喜びを味あわせていただくこととなりました。

この喜びと同時に八段の重みを十分認識し、「指導者は学ぶことをやめたら 教えることもやめなければいけない」の言葉を肝に銘じ、県柔道会の発展に貢献できるよう頑張りたいと思っています。

「八段昇段について」 茶園 茂
北会長から八段昇段についてどうか、という話をいただきましたが、私は柔道会の役員もしていないし、指導者としての活動もありませんと、ご遠慮申し上げたところ、「おまえが、柔道を一生懸命やってきたことの証である。」等、有難い言葉をもらってその気になりました。

全柔連の形の講習会に山崎先生などと熊本市まで行き、その後、山崎先生の指導を受け、古式の形の練習をしました。久しぶりの柔道着姿であり、元々、体の硬い方で、受け身も

下手であったことから、北会長には、ご迷惑をかけながら、なんとか福岡で形試験にのぞみ、おかげさまで、八段昇段をさせてもらいました。

中学、高校では、楠先生、警察では北島先生、吉松先生、北先生などの指導を受け、充実した柔道人生でした。

そして、八段の昇段ができたことは、真にうれしいことであり、各先生方、諸先輩方のおかげであったと感謝しております。

【七段昇段者 2人】

「柔道と共に」 杉元 栄一
今回の七段昇段は、北会長をはじめ諸先生方のご尽力があつてのことと思います。

柔道に携わる事で心身共に健やかに充実した日々を送る事ができました。七段昇段は喜ばしいことですが、大変な重責を担っていることと思います。今後も「心技体」のバランスを図り精進してまいる所存でございます。

今後ともご指導ご鞭撻をいただきたくよろしくお願い申し上げます。

内 清治
このたびは、七段昇段の内定通知を頂きましたことに、北会長をはじめ多くの方々の御支援を頂き、誠に有り難うございました。

今後共、スポーツ少年団を通して青少年の健全育成に貢献できるよう努めていきたいと思ひます。

【六段昇段者 3人】

「昇段の重責」 福永郁雄
この度は六段に昇段させていただきありがとうございます。

講道館柔道では六段で師範となりますが私自身は未熟でこの重責を担う様な修練ができておりません。従って今後も柔道に対する情熱や誇りをもつて、柔道発展のため責任ある行動と態度を研鑽してまいります。「一を以て之を貫く」

「柔の道」 松下博之
私は、中学、高校、大学、今年で40年間柔道が続けております。

初めて取った初段、黒帯を締めた時は、とても嬉しいでした。稽古が厳しかった高校、大学時代、これからは、高段者として恥ずかしくないように、努力し頑張りたいと思ひます。

「六段昇段をいただき」 西郷 昌隆
 本年、1月11日付けで、講道館柔道六段昇段をいただきました。

これも偏に、長年にわたり、ご指導下さいました先生方や、鹿児島県柔道会のお陰と深く感謝しているところです。

私、柔道を始めて三十七年が経ちます。今日まで柔道に携わって来られましたのも柔道を通じてのたくさんの出会いと、多くの方々に支えられたお陰だと思っております。

現在、少年柔道の指導者として子供たちに柔道を教えておりますが、指導の中で逆に色々なことを教えられ、共に学んでいるところであります。

この度の昇段を心に刻み、精力善用・自他共栄の精神で、少年柔道の育成をはじめ、柔道の普及と発展に尽力していく所存でございます。

「柔道指導者講習会」報告

平成27年度の柔道指導者講習会が、5月19日(火)・20日(水)の2日間、県総合体育センターとの共催で県総合体育センター武道館で開催されました。県下各地からスポーツ少年団指導者をはじめ中学校・高等学校・大学の柔道部顧問や指導者、警察署・刑務所の柔道関係者、一般の柔道愛好家ら約160人の参加がありました。

1日目は、開講式に続き、講義Ⅰとして鹿屋体育大学講師の中村勇先生による、全柔連登録関係や指導者資格及び更新講習についての講義がありました。

午後からは、参加者全員に対して、実技Ⅰとして「投の形」山崎逸郎八段、福元雅一七段(鹿児島県警)の指導がありました。



2日目は、まず、講道館指導課長である向井幹博先生の「柔道の理論」についての講話がありました。次に、午後の後半と午後の前

半に講義Ⅱ「国際柔道連盟試合審判規定・少年大会申合せ事項」北菌季康七段(鹿児島県警)、田中総一七段(鹿児島県警)の指導と後半は実技Ⅱ「固の形」向井一輝六段(鹿児島県警)、中菌雅博六段(鹿児島県警)の指導がありました。最後に実技Ⅲ「審判法」「高段者試合」小林義弘六段(鹿児島拘置支所)の指導があり、講習会の全ての日程を終了しました。

(道場めぐり 32)

里柔道少年団の歴史と現状

里柔道指導者部長 馬場 智也

里柔道少年団は、甕島にある里町でチームを結成しています。平嶺繁里柔道会長が、帰郷時に林岩男先生、豊永勉先生に、「少年育成」「第二の北菌」をと、後押しされ昭和53年に発足しました。発足当初から、山崎洋先生、中亮先生、吉松義彦先生、機動隊柔道部などたくさんの先生方にお越しいたき、里の子供たちの為にご指導を賜りました。少年育成だけではなく、指導者育成にもご尽力賜り感謝いたしております。

現在でも、第35回を迎える「里少年武道大会」には、県の先生方にご参加いただき、指導を行っていただいております。現在も、里柔道の伝統を受け継ぎ、少子化に伴い年々、部員数も少なくなってきましたが、「心身・鍛練」を目的として、「質実剛健」元気な里っ子を育てていこうと取り組んでいます。その為に、柔道をとおして「精力善用自他共栄」の精神はもちろん、指導4つの柱「理解・魅力・技・修心」を念頭に指導を行っております。

練習目は、月・水・金の週3回行っています。低学年で、柔道を好きになってもらう為に、遊びながら取り組めるトレーニングを考え、特に夏には、海水浴、砂浜ダッシュを行い、上半身・下半身を鍛え、怪我をしない体づくりなどを行っています。高学年で、離島というハンデで回数は少ないですが、遠征・対外試合に参加し、経験を積んでいます。親の負担は増えますが、もっと大会参加を増やしていければと考えています。中学生になると、対外試合が少ない分地域指導者の熱い指導が待っていて、部員より、指導者の方が多い時もあります。高校で本格的に練習が始まった時に、対応出来るように今しかできない厳しい練習を行っています。また、里の子供たちは体が線が細いことから、育成会に協力をいただき、栄養会はもちろん、「食うトレ」の回数も増え、体づくりにも力を入れています。まだ成果は出ていないようですが、

今後を楽しみにしていきたいと思ひます。

最後に、どんどん大会にも参加していきたいと考えていますので、これからは里柔道少年団を宜しくお願いします。



(道場めぐり 32)

始良柔道スポーツ少年団の活動報告

代表 榎谷 浩喜

平成13年に蒲生に家を見て、次女の有里を始良柔道スポーツ少年団に入れました。その時の指導者今別府先生、末満先生、今吉先生のもと保護者として参加したのがきっかけでした。今別府先生には私も小学生の頃指導して頂き、親子で指導してもらったこととなります。当時は団員も多く、キャンプをしたり、反省会、打ち上げも盛んでした。やる気のない娘をうまく指導して頂きました。その今別府先生が大ケガをして正座ができなくなり、体調を崩され、代わりに私が指導することになりました。

現在団員は10名程度です。女子が大半を占め、明るく楽しくやっています。団員が少ないので、加治木、蒲生の少年団といっしょに練習させてもらっています。特に蒲生の有川先生には、技の指導もして頂き、大変お世話になっています。

昨年はドイツ人の柔道家親子が始良市の日独交流でうちにホームステイに来たので、日独柔道交流大会を行い、お互いに柔道のトレーニング方法、練習内容を教えあい交流を深めました。夏の思い出になりました。

11月には、第14回南康弘追悼合同練習会を、串木野や吹上の少年団招いて、盛大に行いました。また、保護者会長の大野さん、副会長の新居田さんも子供たちのために昇段試験を受験して、一発合格、蒲生の方で整骨院開業の稲富先生も四段に合格して、指導者が4人になり、柔道着を着て、一緒に協力してもらっています。今年はキャンプと柔道を

合わせた合宿を計画しています。今後も人数が少ない分、出げいこを重ね、少しでも子供たちに勝つ喜びを味あわせたいと思ひます。あいさつのできる子、感謝の気持ちを忘れない大人になり、人の役に立つ人間、嘉納治五郎の教えを守り子供たちと一緒に柔道のすばらしさを広めていきたいと思ひます。私は、蒲生の絵本読み聞かせクラブ読書会に所属しています。柔道の練習後に絵本の読み聞かせをやっています。子供たちも喜んでくれて、本にも興味を持ってもらい文武両道のすばらしい人間になってもらいたいと思ひます。柔道人口の増加につながればと思ひます。



各種大会の成績(2月~5月)

第25回鹿児島県柔道選手権大会

第17回鹿児島県女子柔道選手権大会

2月7日(土)鹿児島アリーナ武道場

【優勝者】

☆男子 内 健治郎(県警機動隊) 三連覇
☆女子 堀 歩未(鹿屋体育大学) 初優勝

【男子成績】

- 1位 内 健治郎(県警察)
- 2位 堂前 賢吾(県警察)
- 3位 安部 祥央(鹿屋体育大学)
- 3位 濱田 恭輔(県警察)
- 5位 飛松 直樹(鹿屋体育大学)

【女子成績】

- 1位 堀 歩未(鹿屋体育大学)
- 2位 古賀ちなつ(県警察)
- 3位 泉田 凜(鹿屋体育大学)

3月の九州柔道選手権大会及び九州女子柔道選手権大会には、男子3位、女子2位までが出場しました。

第39回県下中学校新人柔道大会

2月8日(日) 鹿児島アリーナ武道場

◎男子団体戦

- 1位 鹿屋東中学校
- 2位 吉野中学校
- 3位 帖佐中学校
- 3位 米ノ津中学校

○男子個人戦

- 1位 内村 秀資(鹿屋東中学校)
- 2位 武田 祐典(吉野中学校)

○女子個人戦

- ・40kg級
 - 1位 竹之内双葉(加世田中学校)
 - 2位 田原芽流茂(阿久根中学校)
- ・44kg級
 - 1位 西 李香(吉野中学校)
 - 2位 向吉 湖菜(東谷山中学校)
- ・48kg級
 - 1位 中馬 梨歩(吉野中学校)
 - 2位 中川美沙紀(帖佐中学校)
- ・52kg級
 - 1位 藤田 真由(鹿屋東中学校)
 - 2位 永濱 七美(中種子中学校)
- ・57kg級
 - 1位 三崎 茉莉(吉野中学校)
 - 2位 有馬さくら(金峰中学校)
- ・63kg級
 - 1位 新村 歩夢(西陵中学校)
 - 2位 上釜さくら(枕崎中学校)
- ・70kg級
 - 1位 宮田 礼奈(末吉中学校)
 - 2位 松下 夏七(吉野中学校)
- ・70kg超級
 - 1位 清水 風音(坊津学園中学校)
 - 2位 富永奈々美(末吉中学校)

第32回県下少年新人柔道大会

1月31日(土) 鹿児島アリーナ武道場

- 1位 柔心館道場(曾 於) ※三連覇
- 2位 南種子(熊 毛)
- 3位 末吉(曾 於)
- 3位 修道館(鹿児島)

第57回九州柔道選手権大会

3月8日(日) 福岡武道館

【出場者】

- 内健治郎(県警察) (2回戦)
- 堂前賢吾(県警察) (2回戦)
- 濱田恭輔(県警察) (3回戦)
- 安部祥央(鹿屋体育大学) (2回戦)

第25回九州女子柔道選手権大会

3月8日(日) 福岡武道館

【出場者】

- 堀 歩未(鹿屋体育大学) (準優勝)
- 古賀ちなつ(県警察) (2回戦)

第55回全国高等学校柔道選手権大会

3月20日(金)・21日(土) 日本武道館

- 女子個人 70kg級
- 1位 青柳 麗美(鹿児島情報高校)

第35回全国少年柔道大会

5月4日(月)・5日(火) 講道館

- 柔心館道場 予選リーグ 2勝
- 決勝トーナメント 1回戦

県高等学校柔道競技大会

5月28日(水)・29日(木)

鹿児島アリーナ・メインアリーナ

【男子団体戦】

- 1位 鹿児島商業高等学校
- 2位 鹿児島情報高等学校
- 3位 鹿児島実業高等学校
- 4位 明桜館高等学校

【男子個人戦】

- ・男子(60kg級)
 - 1位 加藤 輝(明桜館)
 - 2位 福満 賢(れいめい)
- ・男子(66kg級)
 - 1位 前山 昌平(鹿児島実業)
 - 2位 味岡 大雅(鹿児島情報)
- 男子(73kg級)
 - 1位 田中 秀伍(鹿児島情報)
 - 2位 幸田 州世(明桜館)
- ・男子(81kg級)
 - 1位 青柳 大虎(鹿児島情報)
 - 2位 吉野 敦哉(れいめい)
- ・男子(90kg級)
 - 1位 半渡 賢太(鹿児島商業)
 - 2位 野間 雄貴(鹿児島商業)
- ・男子(100kg級)
 - 1位 大脇 充倫(鹿児島実業)
 - 2位 中武 大智(鹿児島情報)
- ・男子(100kg超級)
 - 1位 松野下 颯太(明桜館)
 - 2位 中山 永遠(明桜館)

【女子団体戦】

- 1位 鹿児島南高等学校
- 2位 鹿児島情報高等学校
- 3位 国分中央高等学校
- 4位 れいめい高等学校

【女子個人戦】

- ・女子(48kg級)
 - 1位 上原 佳恵(国分中央)
 - 2位 阿久根深菜美(鳳凰)
- ・女子(52kg級)
 - 1位 前野 彩(国分中央)
 - 2位 馬場 彩果(鹿児島南)
- ・女子(57kg級)
 - 1位 土屋 七海(鹿児島南)
 - 2位 本田奈々美(国分中央)
- ・女子(63kg級)
 - 1位 幸田 奈々(鹿児島南)
 - 2位 山下 優光(鹿児島情報)
- ・女子(70kg級)
 - 1位 青柳 麗美(鹿児島情報)
 - 2位 野村 理歩(国分中央)
- ・女子(78kg級)
 - 1位 宮崎 繭(鹿児島南)
 - 2位 西山 美依(国分中央)
- ・女子(78kg超級)
 - 1位 古市 真愛(鹿児島情報)
 - 2位 小玉 りえ(鹿児島南)

県総体柔道競技大会

柔道MINDスピーチ

鹿児島商業高等学校教諭 梶原 義彦 (抜粋)

本日は、試合前の貴重な時間をいただき、柔道MINDについてのスピーチをさせていただきます。少しの時間ですので、耳を傾けていただくと有難いです。と言ったときに、皆さんは、今、どのように考えましたか。1番、「なんよ、この忙しい朝の準備の時に、はよ終われ」2番「柔道MIND、誰が話をしても一緒やろが、はよ終われ」3番「柔道MIND、以前、田原先生や吉村先生が、よか話をしたあいや、梶原がでくつとや、ちょっと聞いてみるか」さあどうでしょうか。1, 2, 3番以外のお考えの方もいらっしゃるかもしれませんが、3番に近いお考えの方は、すでに柔道MINDが備わっていると、私は思います。1, 2番のお考えの方は、自分の事が中心で、あまり自分の周りに目配り、気配りができない人ではないかなあとと思います。一方、3番のお考えの方は、自分の事よりも周りの人に目配り、気配りができる人ではないでしょうか。人の話を素直に聞ける人は、自分の考えもきちんと持っており、協調性のある方が多いような気がします。大げさかもしれませんが、【精力善用】【自他共栄】の精神が備わっていると思います。ご存じの通りこの言葉は、柔道の創始者嘉納治五郎先

生の言葉です。

柔道MINDとは、【礼節・自立・高潔・品格】の4つの言葉の頭(かしら)文字を繋げたものです。「MIND」は英語で、「精神」とか「心」という意味で、嘉納治五郎先生の教えの精神、柔道の心に立ち返ろうという気持ちが入められています。「礼節、自立、高潔、品格」これら4つの単語を連ねたことには、柔道を行う者は、これら4つのことを守ってこそ「柔道家」と呼ばれるに相応しいのだということを明確に示そうという狙いがあるそうです。

まとまりのないスピーチになりましたが、最後に私なりに「MIND」を分析してみました。MINDの「ま」は、『真心(まごころ)のみ』、MINDの「い」は、『労(いたわ)のい』、MINDの「ん」は『恩のん』、MINDの「ど」は『努力のど』

真心(まごころ)や労(いたわ)りの気持ちを持って人に接して、相手から受けた恩は、優勝や勝つために一生懸命に努力をして返したいものです。

主な行事予定(6月~9月)

- 6月 6日(土) 国体選手選考会
- 6月 7日(日) 南九州“形”講習会
- 6月13日(土) 県ジュニア体重別選手権大会
- 6月20日(土) 県下中学校大会
- 九州Bライセンス試験
- 6月21日(日) 県下小学生学年別大会
- 全国教員大会選手選考会
- 7月22日(水) 県中学校総体柔道競技
- ~23日(木)
- 7月26日(日) 県少年錬成大会
- 7月27日(月) 県下警察大会
- 7月28日(火) 暑中げいこ
- ~29日(水)
- 8月 2日(日) 県スポーツ少年団交歓会
- 8月 3日(月) 本部夏期講習会
- ~8月8日(土)
- 8月 9日(日) 夏季昇段試験
- 9月19日(土) 第69回県民体育大会柔道競技(鹿児島アリーナ)

【編集後記】

この「柔道会だより」は、平成17年6月の創刊から数えて11年目を迎え、第31号を発刊する運びとなりました。今年度より、4代目として編集に携わることになり、さらに内容の充実を図りたいと思います。今後ともよろしくお願いします。(文責：田島)